

データヘルス計画

第3期計画書

最終更新日：令和 6 年 03 月 22 日

UDトラックス健康保険組合

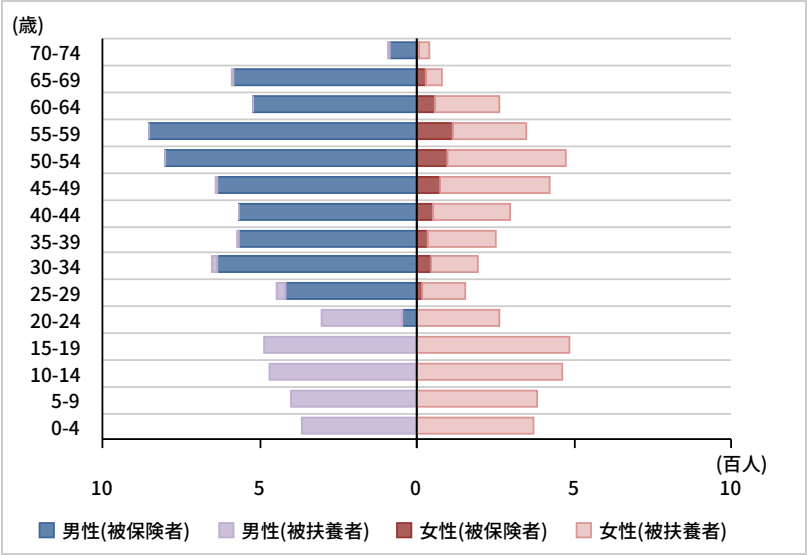
STEP 1 - 1 基本情報

組合コード	43057		
組合名称	UDトラックス健康保険組合		
形態	単一		
業種	機械器具製造業		
	令和6年度見込み	令和7年度見込み	令和8年度見込み
被保険者数 * 平均年齢は 特例退職被保 険者を除く	6,215名 男性92% (平均年齢42.6歳) * 女性8% (平均年齢44.58歳) *	-名 男性-% (平均年齢-歳) * 女性-% (平均年齢-歳) *	-名 男性-% (平均年齢-歳) * 女性-% (平均年齢-歳) *
特例退職被保険 者数	0名	-名	-名
加入者数	12,153名	-名	-名
適用事業所数	7カ所	-カ所	-カ所
対象となる拠点 数	7カ所	-カ所	-カ所
保険料率 *調整を含む	80%o	-%o	-%o

		健康保険組合と事業主側の医療専門職					
		令和6年度見込み		令和7年度見込み		令和8年度見込み	
		常勤(人)	非常勤(人)	常勤(人)	非常勤(人)	常勤(人)	非常勤(人)
健保組合	顧問医	0	0	-	-	-	-
	保健師等	0	0	-	-	-	-
事業主	産業医	0	3	-	-	-	-
	保健師等	2	0	-	-	-	-
		第3期における基礎数値 (令和4年度の実績値)					
特定健康診査実施率 (特定健康診査実施者数÷ 特定健康診査対象者数)	全体	3,968 / 5,276 = 75.2 %					
	被保険者	3,563 / 3,732 = 95.5 %					
	被扶養者	405 / 1,544 = 26.2 %					
特定保健指導実施率 (特定保健指導実施者数÷ 特定保健指導対象者数)	全体	169 / 1,010 = 16.7 %					
	被保険者	168 / 973 = 17.3 %					
	被扶養者	1 / 37 = 2.7 %					

		令和6年度見込み		令和7年度見込み		令和8年度見込み	
		予算額(千円)	被保険者一人 当たり金額 (円)	予算額(千円)	被保険者一人 当たり金額 (円)	予算額(千円)	被保険者一人 当たり金額 (円)
保健事業費	特定健康診査事業費	10,891	1,752	-	-	-	-
	特定保健指導事業費	5,620	904	-	-	-	-
	保健指導宣伝費	7,600	1,223	-	-	-	-
	疾病予防費	113,220	18,217	-	-	-	-
	体育奨励費	1,000	161	-	-	-	-
	直営保養所費	0	0	-	-	-	-
	その他	1,701	274	-	-	-	-
	小計 …a	140,032	22,531	0	-	0	-
	経常支出合計 …b	4,148,986	667,576	-	-	-	-
	a/b×100 (%)	3.38		-		-	

令和6年度見込み



令和7年度見込み



令和8年度見込み



男性（被保険者）

令和6年度見込み				令和7年度見込み				令和8年度見込み			
0～4	0人	5～9	0人	0～4	-人	5～9	-人	0～4	-人	5～9	-人
10～14	0人	15～19	0人	10～14	-人	15～19	-人	10～14	-人	15～19	-人
20～24	43人	25～29	417人	20～24	-人	25～29	-人	20～24	-人	25～29	-人
30～34	634人	35～39	568人	30～34	-人	35～39	-人	30～34	-人	35～39	-人
40～44	567人	45～49	635人	40～44	-人	45～49	-人	40～44	-人	45～49	-人
50～54	799人	55～59	849人	50～54	-人	55～59	-人	50～54	-人	55～59	-人
60～64	518人	65～69	585人	60～64	-人	65～69	-人	60～64	-人	65～69	-人
70～74	87人			70～74	-人			70～74	-人		

女性（被保険者）

令和6年度見込み				令和7年度見込み				令和8年度見込み			
0～4	0人	5～9	0人	0～4	-人	5～9	-人	0～4	-人	5～9	-人
10～14	0人	15～19	0人	10～14	-人	15～19	-人	10～14	-人	15～19	-人
20～24	1人	25～29	19人	20～24	-人	25～29	-人	20～24	-人	25～29	-人
30～34	44人	35～39	36人	30～34	-人	35～39	-人	30～34	-人	35～39	-人
40～44	54人	45～49	73人	40～44	-人	45～49	-人	40～44	-人	45～49	-人
50～54	96人	55～59	113人	50～54	-人	55～59	-人	50～54	-人	55～59	-人
60～64	58人	65～69	30人	60～64	-人	65～69	-人	60～64	-人	65～69	-人
70～74	3人			70～74	-人			70～74	-人		

男性（被扶養者）

令和6年度見込み				令和7年度見込み				令和8年度見込み			
0～4	364人	5～9	400人	0～4	-人	5～9	-人	0～4	-人	5～9	-人
10～14	468人	15～19	487人	10～14	-人	15～19	-人	10～14	-人	15～19	-人
20～24	255人	25～29	30人	20～24	-人	25～29	-人	20～24	-人	25～29	-人
30～34	15人	35～39	4人	30～34	-人	35～39	-人	30～34	-人	35～39	-人
40～44	1人	45～49	3人	40～44	-人	45～49	-人	40～44	-人	45～49	-人
50～54	1人	55～59	2人	50～54	-人	55～59	-人	50～54	-人	55～59	-人
60～64	2人	65～69	5人	60～64	-人	65～69	-人	60～64	-人	65～69	-人
70～74	3人			70～74	-人			70～74	-人		

女性（被扶養者）

令和6年度見込み				令和7年度見込み				令和8年度見込み			
0～4	370人	5～9	384人	0～4	-人	5～9	-人	0～4	-人	5～9	-人
10～14	465人	15～19	488人	10～14	-人	15～19	-人	10～14	-人	15～19	-人
20～24	262人	25～29	138人	20～24	-人	25～29	-人	20～24	-人	25～29	-人
30～34	147人	35～39	218人	30～34	-人	35～39	-人	30～34	-人	35～39	-人
40～44	247人	45～49	351人	40～44	-人	45～49	-人	40～44	-人	45～49	-人
50～54	379人	55～59	232人	50～54	-人	55～59	-人	50～54	-人	55～59	-人
60～64	207人	65～69	51人	60～64	-人	65～69	-人	60～64	-人	65～69	-人
70～74	32人			70～74	-人			70～74	-人		

基本情報から見える特徴	全体として加入者数は減少傾向 青年以上では男性被保険者が多く、次に女性被扶養者となる。比率は2:1 65ー74 歳では女性被扶養者が多く、次に男性井保険者。比率は 2:1 20歳未満が全体の 29%、40-64 歳が 43%、65-74 歳が 1% 65 歳以上の男性被保険者が特に増加。 今後、65 歳以上の方の比率が大きくなる可能性
-------------	---

STEP 1 - 2 保健事業の実施状況

保健事業の整理から見える特徴
・機関誌、ホームページによる情報提供を行っている。
・人間ドック、胃・大腸がん検診など疾病予防に役立つ事業を実施している。
・提携した全国のカウンセリングルームの活用や24時間健康相談等メンタルヘルスを中心に事業を実施する。

事業の一覧

職場環境の整備	
疾病予防	メンタルヘルス講習会
疾病予防	コラボヘルス
加入者への意識づけ	
保健指導宣伝	機関誌
保健指導宣伝	医療費通知（MY HEALTH WEB）
保健指導宣伝	ホームページの活用
保健指導宣伝	出産育児品
保健指導宣伝	マイナンバー普及施策
予算措置なし	アクティブセミナー
個別の事業	
特定健康診査事業	特定健康診査(被保険者)
特定健康診査事業	特定健康診査(被扶養者・任継)
特定保健指導事業	特定保健指導
保健指導宣伝	データヘルス計画
保健指導宣伝	ジェネリック差額通知
保健指導宣伝	前期高齢者対策（すこやかエイジ）
疾病予防	人間ドック
疾病予防	オプション健診（胃・大腸・前立腺・乳・子宮）
疾病予防	禁煙促進プログラム
疾病予防	24時間電話健康相談
疾病予防	生活習慣病重症化予防（受診勧奨）
疾病予防	インフルエンザ予防接種
疾病予防	新型コロナワクチン職域接種
体育奨励	ウォーキング・マラソン活動（RACE-ONE・上尾マラソン）
予算措置なし	ストレスチェック
事業主の取組	
1	メンタル不調者へのフォローアップ

※事業は予算科目順に並び替えて表示されています。

予算科目	注1)事業分類	事業名	事業目標	対象者				事業費(千円)	振り返り			注2)評価
				対象事業所	性別	年齢	対象者		実施状況・時期	成功・推進要因	課題及び阻害要因	
職場環境の整備												
疾病予防	5	メンタルヘルス講習会	メンタルヘルス対策	全て	男女	18～74	被保険者	0	経年実施 オンラインセミナー動画を公開	事業所のほうでのメンタルヘルストレーニングを実施。 セミナー動画を公開することで全国の被保険者へ教育実施ができた事。 参加者負担の無い無料実施であったこと。 日本語版・英語版両方でも実施	案内文書の改善等を今後検討	5
	1,3,5	コラボヘルス	コラボヘルスの円滑な推進	全て	男女	18～(上限なし)	加入者全員	890	・会社と共同でカラダチェックセミナー実施 6月(計3回) ・新入社員向け感染症グッズの配布(4月)	コロナ対策を実施しつつ対面で実施ができた。 体を動かすことで実際に体力の実態を把握して改善意識を高めることができた。 コロナ対策として感染症対策について必要な商品を提供できた	カラダチェックを単発ではなく継続して実施することでその後の変化等を認識していただくことが必要 本社のみでしか実施できていないため、それ以外の地域での実施が困難	5
加入者への意識づけ												
保健指導宣伝	2,5	機関誌	健保組合の運営、保険事業などの情報発信	全て	男女	0～74	加入者全員	0	7月、3月 HPに掲載	内部での制作に変更したため シンプルでわかりやすい内容に変更を行った	HPのアクセス数の改善 英語版が昨年度は発行できていない	5
	2,5	医療費通知(MY HEALTH WEB)	医療費の適正化、医療機関による不正請求の防止。	全て	男女	0～74	加入者全員	2,709	通年実施 医療費通知を毎月更新し案内実施	電子化されていることでいつでもアクセス可能	一部電子化されていない方への郵送作業に時間が掛かること。	5
	2,5	ホームページの活用	健保からのタイムリーな情報発信及び内容の充実。	全て	男女	0～74	加入者全員	270	通年実施(内容を一部変更実施)	・英語版作成 ・見やすさ、検索しやすさを考慮 ・オンラインセミナーの動画をHP上に掲載 ・コロナ関連の情報をタイムリーに提供	細部の修正は、外部業者への依頼が必要。そして、時間が掛かってしまう。	5
	8	出産育児品	出産時のお祝い、出産記念品を配付することで健保の保健事業をPRする	全て	男女	18～74	基準該当者	441	通年実施	直接委託に変更したため、子育て関連の電話相談のチラシを同封など柔軟な対応ができるようになった	特になし	5
	8	マイナンバー普及施策	マイナンバーの普及	全て	男女	18～(上限なし)	被保険者	0	通年実施 HPでお知らせの実施(3回)	国から協力依頼のタイミングに合わせて タイムリーに案内を実施	特になし	5
予算措置なし	5	アクティブセミナー	50台以上の健康意識の醸成	母体企業	男女	50～50	被保険者	--		-	-	-
個別の事業												

予算科目	注1) 事業分類	事業名	事業目標	対象者				事業費 (千円)	振り返り			注2) 評価
				対象事業所	性別	年齢	対象者		実施状況・時期	成功・推進要因	課題及び阻害要因	
特定健康 診査事業	3	特定健康診査(被保険者)	加入者の健康維持及び内臓脂肪型肥満（メタボリックシンドローム）に着目した健診の受診率向上による生活習慣病の予防	全て	男女	40～74	被保険者		誕生月に健診を実施。 0 主要拠点以外は巡回検診・ネットワーク健診も利用。	就業時間内に、無料で受診できること。	小さな拠点の場合、病院へ行く必要があり、予約から受診まで手間がかかること。	5
	3	特定健康診査(被扶養者・任継)	加入者の健康維持及び内臓脂肪型肥満（メタボリックシンドローム）に着目した健診の受診率向上による生活習慣病の予防	全て	男女	40～74	被扶養者,任意継続者	9,658	4月～2月末 12月に未受診者への督促を実施	個人宅へ特定健診に関するパンフレットを直接郵送。ネットでの申し込みに変更して利便性を向上した。健診項目を追加し、被保険者と統一した督促を実施することで、12月以降は申込が3倍になった。	被扶養者の場合、受診率が良くない。	5
特定保健指導事業	4	特定保健指導	生活習慣病リスク保有者の生活習慣、健康状態の改善	全て	男女	40～74	被保険者,被扶養者,基準該当者	3,547	定期健康診断のメタボ対象者で指導を希望する方へ連絡、委託先の指導機関にて面談を実施。	面接を、希望する時間にオンラインで行う形に変更。 未受診者へ電話とメールにより督促を実施した。	保健指導を希望する人数が少ないこと。 被扶養者、任意継続被保険者の参加者が特に少ない	5
保健指導 宣伝	8	データヘルス計画	保健事業への有効活用・事業主とのコラボ検討	全て	男女	0～74	加入者全員	195	6月 実績報告のための取りまとめ実施	外部のリソースを活用して効率的に実施ができた	他の業務のため内製化が難しい	5
	7	ジェネリック差額通知	処方された薬剤とジェネリック医薬品に切り替えた場合の差額を通知することで、後発医薬品の利用率を向上させ、医療費適正化をはかる。	全て	男女	5～74	基準該当者	39	保険証発行時にシールを配布 差額通知はWEBにて実施（通年実施）	対象者がいつでもアクセス可能になり差額が少ない方でも確認ができる 薬単位で候補薬品名もわかるようになる	特になし	5
	4	前期高齢者対策（すこやかエイジ）	前期高齢者向けの医療費の適正化を目指す	全て	男女	64～（上限なし）	加入者全員,基準該当者	486	3月に案内実施 継続フォロー中	定年退職前年度から対象として実施	年度末に実施したこともあり、回答率が低い 初年度のため今後実施する場合は実施方法の見直しを検討	4
疾病 予防	3	人間ドック	健康維持、疾病の予防・早期発見	全て	男女	15～74	加入者全員	30,753	4月：全被保険者・被扶養者へDMを発送。 随時：中途採用の方へDMを発送。 12月に未受診者へ督促を実施	インターネットを通じ、簡単に申し込みが可能。電話での申し込みも可能。 コロナ後での受診が増えている。 4月上旬からのスムーズな健診のため余裕をもって案内を実施した。 督促を実施することで、12月以降は申込が3倍になった。	全国に契約医療機関があるものの、まだまだ地方の医療機関が少ないこと。	5
	3	オプション健診（胃・大腸・前立腺・乳・子宮）	がんの早期発見	全て	男女	15～74	加入者全員	18,038	社内イントラ・HP・機関誌等での案内の実施。 胃がん検診：1,359名 大腸がん検診：3,997名	胃がん検診は上尾地区は別日だが会社にて追加の健診実施が可能としている 大腸がん検診を法定健診のお知らせと同時に案内したため標準での検査と認識いただいたため受診人数が増加した	アミノインデックスは検査が複雑で検体の精度の問題があり次年度より廃止予定	5

予算科目	注1) 事業分類	事業名	事業目標	対象者				事業費(千円)	振り返り			注2) 評価
				対象事業所	性別	年齢	対象者		実施状況・時期	成功・推進要因	課題及び阻害要因	
	5	禁煙促進プログラム	喫煙率の減少	全て	男女	20～74	被保険者	26	禁煙プログラム参加者：3名	毎月の安全衛生会議で参加依頼を実施。本人は無料である。全国各地でのプログラム参加が可能であること。	希望者が少ない。 まだまだ禁煙促進プログラムの知名度が低い。 全体的な喫煙率が下がっており、禁煙の意思がない方が対象になっている。 喫煙率が高い上尾地区以外での実施も検討	4
	5,6	24時間電話健康相談	健康・育児に関する相談による医療費適正化	全て	男女	0～74	加入者全員	3,913	4月案内パンフレットを自宅へ郵送。	氏名などの確認されずに相談ができる安心感がある。 年末年始にYammer経由で案内実施	健康相談の窓口が社内に複数あること。	5
	4	生活習慣病重症化予防（受診勧奨）	糖尿病の重症化予防	全て	男女	40～74	被保険者,基準該当者	578	通年実施：事業主健診は事業主にて2次健診対象者をリストアップして受診勧奨を実施	特定保健指導の割合が増加しているなど健康意識が高まっている メールにて未受診者への勧奨を実施 3年間未受診などの岩盤層へは個別性の高いパンフレットによる意識付けの実施 月次のマネジメント会議で上長へ組織別の進捗状況を報告	特になし	5
	3	インフルエンザ予防接種	インフルエンザ重症化予防	全て	男女	0～74	加入者全員	16,260	実施時期：10月～3月 4,483名へ補助金支給	被保険者に加えて令和2年度より被扶養者も全額補助としたこと。 上尾本社や販売店などで事業所内で就業時間内に実施したこと。 関東一円を集団接種対象を増加したことで300人程度増加したが費用は抑えられた。	医療機関で予防接種した場合に、一時的に立替払いを行い、申請を出さなければ補助金を受け取ることができないこと。 関東地区以外での集団接種も検討。	5
	3	新型コロナワクチン職域接種	新型コロナの感染予防	全て	男女	18～（上限なし）	被保険者	18,150	職域接種として実施 3回目 R04.3月中旬～4月中旬 4回目 R04.10月～11月	事業所敷地内で実施	関東圏以外のへは職域接種としての案内ができなかった 健保持出しの費用が発生	5
体育奨励	2,5	ウォーキング・マラソン活動（RACE-ONE・上尾マラソン）	参加者間の情報共有による運動習慣の改善	全て	男女	0～74	加入者全員	0	RACE-ONE 通年実施 上尾マラソンは11月20日開催	事業主が主体で発信を実施。イントラ経由での発信を実施。ユニフォームを無料支給し一体感を醸成した コロナの影響でマラソン大会は3年ぶりの実施となった	上尾マラソンは上尾地区の従業員が中心となっている	5
予算措置なし	3	ストレスチェック	メンタルヘルス疾患の早期発見・予防	母体企業	男女	18～（上限なし）	被保険者	0	11月 受検 1月以降 職場改善の実施 13グループ実施	日々受検率を確認できるため、従業員への展開と職場のフォローがスムーズに行うことができた	職場改善のスピードが遅い	5

注1) 1. 職場環境の整備 2. 加入者への意識づけ 3. 健康診査 4. 保健指導・受診勧奨 5. 健康教育 6. 健康相談 7. 後発医薬品の使用促進 8. その他の事業

注2) 1. 39%以下 2. 40%以上 3. 60%以上 4. 80%以上 5. 100%

事業名	事業の目的および概要	対象者			振り返り			共同 実施
		資格	性別	年齢	実施状況・時期	成功・推進要因	課題及び阻害要因	
事業主の取組								
メンタル不調者へのフォローアップ	メンタル不調者へ精神科の専門医によるフォローを実施	被保険者	男女	18～（上限なし）	通年実施	専門家による対応のためラインとは別で細やかなフォローができる。	特になし	無

STEP 2 健康課題の抽出

No.	STEP1 対応項目	基本分析による現状把握から見える主な健康課題		対策の方向性	優先すべき 課題
1	イ	○医療費 医療費は増加傾向。高齢とともに一人当たり医療費増。 20歳未満で全体の24%。前期高齢者は2.4%。納付率は減少傾向疾病の中では歯が最も多く、新生物、循環器、呼吸器と続く。0-14歳と40歳以上の医療費が大きい ○生活習慣病 男性被保険者では生活習慣病31%なのに対し、女性被扶養者では16%と生活習慣病は男性に多い傾向がある。 生活習慣病では男性の腎不全、女性の高血圧高い。女性は脂質異常が高いが重症化していない。被扶養者と被保険者で傾向が異なる。	➡	基本となる特定健診、指導を促進する。 被扶養者は巡回レディース健診も活用する。	✓
2	イ	○疾病 歯科医療費は49歳と、45-49歳にピークがある。ただし、一人当たり費用でみるとまんべんなく発生している。 20歳未満では呼吸器、歯の比率が高い。呼吸器は風邪症候群、ぜんそくが大きい。 20-39歳では医療費単価が安い。歯が最も多く、新生物、呼吸器、神経系が多い。 循環器では男性では高血圧、その他、虚血性心疾患 心筋梗塞が多いのに対し、女性では高血圧、脳内出血が多いが、虚血性心疾患はほとんど見られない。 腎尿路では男性は圧倒的に腎不全だが、女性では女性固有の疾患、乳房、生殖器が大きくなる。 筋骨格では、男性は脊椎障害、関節症が、女性ではリウマチが多くみられる。女性被扶養者の前期高齢者で骨折が多くみられる。口コモ、骨粗しょう症の影響か 精神障害では、男性は圧倒的に気分躁鬱含むだが、女性では統合失調症が多い	➡	生活習慣病・ドック・巡回レディース早期申込者に歯周病のチェックキットを配布しているが、 歯科医療機関への受診につながる対策の検討する必要がある。	
3	イ	40歳以上では新生物、循環器、歯、腎尿路、筋骨格と続く 新生物では男女の医療費がほぼ等しく、 男性ではその他、気管が多いのに対し、 女性では女性固有のがん乳房、子宮の費用が大きい。	➡	生活習慣病・ドック・巡回レディースによる早期発見につなげる。 主要ながんの早期発見のためオプション検診の継続。 禁煙対策も実施しているが、参加者が低迷しているため、実施方法を見直す必要がある（禁煙から減煙）	
4	ア	特定保健指導該当者率は健保計では前年より減少しているが、全国と比べて割合が高く、本人の該当割合が高くなっている。年代別では40-54歳の該当割合が高くなっている。	➡	未受診者への受診勧奨について対象年齢を引き下げること、40歳未満の健診受診を促進させることで 40歳での特定保健指導該当時点での対象者割合を減少させる	

基本情報

No.	特徴		対策検討時に留意すべき点
1	・増加傾向 ・20歳未満が29% ・40-64歳が43% ・65-74歳が1% ・青年以上で男女比2:1 ・65-75歳で男女比1:2 ・前期高齢者納付率は10%と高いが減少傾向、男性被保険者が増加	➡	・健康リスク保有者を把握し、疾病の早期発見・早期治療に取り組む ・被保険者については、事業主への協力依頼を行い実施率の向上を目指す。 ・被扶養者については、受診促進の為にPRを行い実施率の向上を目指す。

保健事業の実施状況

No.	特徴		対策検討時に留意すべき点
1	・職場環境の改善としてメンタルヘルス、コラボヘルスの活動を実施している。一部活動は上尾のみとなっている。アウトカムを受診率としているが、共通指標ではアウトプットとなっているため、見直すか？ ・加入者への意識付けとしてWEBを利用した広報活動を実施している。 ・特定健康診査では就業時間内に行い、専門医による指導も実施。地方では病院での実施のため、手間がかかることもある。被保険者では受診率が低い ・特定保健指導も初回面談などを実施しているが、希望者が少ない。特に被扶養者で少ない ・人間ドック、オプション検診も実施しているが、地方の医療機関が少ない。アウトカムは大腸、胃がん。 ・生活習慣病対策として禁煙、受診勧奨を実施している。禁煙は希望者が少なく、受診勧奨は外部委託でパンフ送付。アウトカムは受診率だが、生活習慣病医療費などにする？ ・ジェネリック使用を保険証発行時にシール配布しており、差額はWEBでみられる。 ・インフルなどの予防接種を実施している ・ストレスチェックも全社で実施しているが、改善のスピードが遅い	➡	食事習慣などは事業主のほうでの健康メニューの提供などを検討中のため、事業主とコラボして対策実施を行う。

STEP 3 保健事業の実施計画

事業全体の目的 One UDとして行うすべての決定において、従業員の安全、健康、ウェルビーイングを 最優先に考えます。 安全で健康的な職場環境を提供することで、ビジネスに付加価値をもたらし、品質と生産性の両方に貢献し、エンゲージメントを向上させ、従業員のBetter Lifeにつなげます。 - 健康は従業員全員の責任 - 予防の促進 - 効果的な導入のための不健康状況の識別と改善の促進	事業全体の目標 従業員と家族の将来の健康維持のため、UDトラックス全体として疾病予防活動を進める 健康な状態を取り戻すため、早期治療、重症化予防を図る 法的規制を順守する。 効率的な医療費運用を進める。
--	---

事業の一覧	
職場環境の整備	
疾病予防	ストレスチェック
疾病予防	コラボヘルス
加入者への意識づけ	
保健指導宣伝	医療費通知（MY HEALTH WEB）
保健指導宣伝	ホームページの活用
保健指導宣伝	出産育児品
保健指導宣伝	マイナンバー普及施策
予算措置なし	アクティブセミナー
個別の事業	
特定健康診査事業	特定健康診査(被保険者)
特定健康診査事業	特定健康診査(被扶養者・任継)
特定保健指導事業	特定保健指導
保健指導宣伝	データヘルス計画
保健指導宣伝	ジェネリック差額通知
保健指導宣伝	前期高齢者対策（すこやかエイジ）
疾病予防	人間ドック
疾病予防	オプション健診（胃・大腸・前立腺・乳・子宮）
疾病予防	禁煙促進プログラム
疾病予防	24時間電話健康相談
疾病予防	生活習慣病重症化予防（受診勧奨）
疾病予防	インフルエンザ予防接種
疾病予防	歯科対策
体育奨励	ウォーキング・マラソン活動（RACE-ONE・上尾マラソン）
予算措置なし	ストレスチェック

※事業は予算科目順に並び替えて表示されています。

予算科目	注1) 事業分類	新規 既存	事業名	対象者			注2) 実施主体	注3) プロセス分類	実施方法	注4) ストラクチャー分類	実施体制	予算額(千円)						事業目標	健康課題との関連	
				対象事業所	性別	年齢						対象者	実施計画							
													令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度			令和11年度
アウトプット指標												アウトカム指標								
職場環境の整備																				
疾病予防	5	既存	ストレスチェック	全て	男女	18～74	被保険者	3	ク、ケ、ス	・ストレスチェックの結果により会社主催で高ストレス職場を対象にワークショップを実施	ア、コ	事業主との共催	0	0	0	0	0	0	メンタルヘルス対策	〇疾病 歯科医療費は49歳と、45-49歳にピークがある。ただし、一人当たり費用でみるとまんべんなく発生している。 20歳未満では呼吸器、歯の比率が高い。呼吸器は風邪症候群、ぜんそくが大きい。 20-39歳では医療費単価が安い。歯が最も多く、新生物、呼吸器、神経系が多い。 循環器では男性では高血圧、その他、虚血性心疾患 心筋梗塞が多いのに対し、女性では高血圧、脳内出血が多いが、虚血性心疾患はほとんど見られない。 。腎尿路では男性は圧倒的に腎不全だが、女性では女性固有の疾患、乳房、生殖器が大きくなる。 筋骨格では、男性は脊椎障害、関節症が、女性ではリウマチが多くみられる。女性被扶養者の前期高齢者で骨折が多くみられる。ロコモ、骨粗しょう症の影響が 精神障害では、男性は圧倒的に気分躁鬱含む だが、女性では統合失調症が多い
													11月にストレスチェック実施 通年で従業員向けオンラインセミナーを受講可能とする 健保HPでも動画を公開	11月にストレスチェック実施 通年で従業員向けオンラインセミナーを受講可能とする 健保HPでも動画を公開	11月にストレスチェック実施 通年で従業員向けオンラインセミナーを受講可能とする 健保HPでも動画を公開	11月にストレスチェック実施 通年で従業員向けオンラインセミナーを受講可能とする 健保HPでも動画を公開	11月にストレスチェック実施 通年で従業員向けオンラインセミナーを受講可能とする 健保HPでも動画を公開	11月にストレスチェック実施 通年で従業員向けオンラインセミナーを受講可能とする 健保HPでも動画を公開		
													ワークショップ実施率(【実績値】100% 【目標値】令和6年度：100% 令和7年度：100% 令和8年度：100% 令和9年度：100% 令和10年度：100% 令和11年度：100%)高ストレス者の割合が高いところでのワークショップ実施率							
1,5	新規	コラボヘルス	全て	男女	18～(上限なし)	加入者全員	3	ケ	令和元年度より開始 ・会社と共同セミナー実施(商品提供含む) ・健康器具の職場への配置 ・カラダチェック(運動機能測定・ベジチェック)を実施	ア、ウ	会社のヘルスケア部門と健康保険組合月4回程度の定期的な打ち合わせを実施し 会社のコミュニケーション部門と連携し会社への展開を行う	3,000	3,000	3,000	3,000	3,000	3,000	コラボヘルスの円滑な推進	該当なし	
												・セミナーは会社の教育プログラムの一環として実施 ・会社と共同でカラダチェックセミナー実施	・セミナーは会社の教育プログラムの一環として実施 ・会社と共同でカラダチェックセミナー実施	・セミナーは会社の教育プログラムの一環として実施 ・会社と共同でカラダチェックセミナー実施	・セミナーは会社の教育プログラムの一環として実施 ・会社と共同でカラダチェックセミナー実施	・セミナーは会社の教育プログラムの一環として実施 ・会社と共同でカラダチェックセミナー実施	・セミナーは会社の教育プログラムの一環として実施 ・会社と共同でカラダチェックセミナー実施			
												マネジメント会議実施回数(【実績値】48回 【目標値】令和6年度：48回 令和7年度：48回 令和8年度：48回 令和9年度：48回 令和10年度：48回 令和11年度：48回)マネジメント会議の実施回数(月4回)								歩行または身体活動実施割合(【実績値】30% 【目標値】令和6年度：31% 令和7年度：32% 令和8年度：33% 令和9年度：34% 令和10年度：35% 令和11年度：35%)日常生活において歩行又は同等の身体活動を1日1時間以上実施(全加入者)
加入者への意識づけ																				
保健指導宣伝	2,5,7	既存	医療費通知(MY HEALTH WEB)	全て	男女	0～74	加入者全員	1	エ	・医療費通知・健康診断結果・ジェネリック差額通知提供 ・WEBが対応できない一部の方へ、郵送にて送付。	シ	-	3,000	3,000	3,000	3,000	3,000	3,000	医療費の適正化、医療機関による不正請求の防止。	該当なし
													電子配信を実施。 (世帯宛：現金給付の支給明細含む) 健康診断結果も提供	電子配信を実施。 (世帯宛：現金給付の支給明細含む) 健康診断結果も提供	電子配信を実施。 (世帯宛：現金給付の支給明細含む) 健康診断結果も提供	電子配信を実施。 (世帯宛：現金給付の支給明細含む) 健康診断結果も提供	電子配信を実施。 (世帯宛：現金給付の支給明細含む) 健康診断結果も提供	電子配信を実施。 (世帯宛：現金給付の支給明細含む) 健康診断結果も提供		
													発行回数(【実績値】12回 【目標値】令和6年度：12回 令和7年度：12回 令和8年度：12回 令和9年度：12回 令和10年度：12回 令和11年度：12回)医療費通知の発行回数							
2,5	既存	ホームページの活用	全て	男女	0～74	加入者全員	1	エ	・健保情報をタイムリーに掲載、及びメンテナンスを実施する。 ・動画配信を実施	シ	-	500	500	500	500	500	500	健保からのタイムリーな情報発信及び内容の充実。	該当なし	
												法改正情報や、時節情報をタイムリーに発信。当組合の保険事業実施時に展開。 動画配信を実施(ストレッチ+研修会・オンラインセミナー等)	法改正情報や、時節情報をタイムリーに発信。当組合の保険事業実施時に展開。 動画配信を実施(ストレッチ+研修会・オンラインセミナー等)	法改正情報や、時節情報をタイムリーに発信。当組合の保険事業実施時に展開。 動画配信を実施(ストレッチ+研修会・オンラインセミナー等)	法改正情報や、時節情報をタイムリーに発信。当組合の保険事業実施時に展開。 動画配信を実施(ストレッチ+研修会・オンラインセミナー等)	法改正情報や、時節情報をタイムリーに発信。当組合の保険事業実施時に展開。 動画配信を実施(ストレッチ+研修会・オンラインセミナー等)	法改正情報や、時節情報をタイムリーに発信。当組合の保険事業実施時に展開。 動画配信を実施(ストレッチ+研修会・オンラインセミナー等)			
												ニュース更新回数(【実績値】31回 【目標値】令和6年度：12回 令和7年度：12回 令和8年度：12回 令和9年度：12回 令和10年度：12回 令和11年度：12回)最低月1回以上の発信を実施								年間アクセス数(【実績値】60,376件 【目標値】令和6年度：60,000件 令和7年度：60,000件 令和8年度：60,000件 令和9年度：60,000件 令和10年度：60,000件 令和11年度：60,000件)-
8	既存	出産育児品	全て	男女	18～74	基準該当者	1	ク	出産記念品(バスタオルセット)を新生児出産者の自宅へ郵送	シ	扶養追加の申請時に会社または健保から申込書の配付	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	出産時のお祝い、出産記念品を配付することで健保の保健事業をPRする	該当なし(これまでの経緯等で実施する事業)	
												出産された被保険者・被扶養者へバスタオルセットの贈呈	出産された被保険者・被扶養者へバスタオルセットの贈呈	出産された被保険者・被扶養者へバスタオルセットの贈呈	出産された被保険者・被扶養者へバスタオルセットの贈呈	出産された被保険者・被扶養者へバスタオルセットの贈呈	出産された被保険者・被扶養者へバスタオルセットの贈呈			
												記念品支給率(【実績値】100% 【目標値】令和6年度：100% 令和7年度：100% 令和8年度：100% 令和9年度：100% 令和10年度：100% 令和11年度：100%)-								記念品配付のため(アウトカムは設定されていません)
													-	-	-	-	-	-		

予算科目	注1) 事業分類	新規 既存	事業名	対象者				注2) 実施主体	注3) プロセス分類	実施方法	注4) ストラクチャー分類	実施体制	予算額(千円)						事業目標	健康課題との関連				
				対象事業所	性別	年齢	対象者						実施計画											
													令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度						
	アウトプット指標												アウトカム指標											
	5	新規	マイナンバー普及施策	全て	男女	18～（上限なし）	被保険者	1	エ	マイナンバーの普及のためのHPに情報提供実施	シ	-	情報提供の継続	移行期間のため情報提供の継続	中止予定	中止予定	中止予定	中止予定	マイナンバーでの医療機関受診の促進	該当なし				
	案内方法(【実績値】 - 【目標値】 令和6年度：1回 令和7年度：1回 令和8年度：0回 令和9年度：0回 令和10年度：0回 令和11年度：0回)-												- (アウトカムは設定されていません)											
予算措置なし	5	既存	アクティブセミナー	母体企業	男女	50～50	被保険者	2	ア,ク	50歳の対象者向けにセミナー実施（年金、健康、食生活）受講者へは人間ドックの自己負担額（1万円）を免除するインセンティブを付与	ア	運動等は専門職（運動・管理栄養士）が指導を実施	定期的に実施	定期的に実施	定期的に実施	定期的に実施	定期的に実施	定期的に実施	50台以上の健康意識の醸成	○疾病 歯科医療費は49歳と、45・49歳にピークがある。ただし、一人当たり費用でみるとまんべんなく発生している。 20歳未満では呼吸器、歯の比率が高い。呼吸器は風邪症候群、ぜんそくが大きい。 20－39歳では医療費単価が安い。歯が最も多く、新生物、呼吸器、神経系が多い。 循環器では男性では高血圧、その他、虚血性心疾患 心筋梗塞が多いのに対し、女性では高血圧、脳内出血が多いが、虚血性心疾患はほとんど見られない。 。腎尿路では男性は圧倒的に腎不全だが、女性では女性固有の疾患、乳房、生殖器が大きくなる。 筋骨格では、男性は脊椎障害、関節症が、女性ではリウマチが多くみられる。女性被扶養者の前期高齢者で骨折が多くみられる。口コモ、骨粗しょう症の影響が 精神障害では、男性は圧倒的に気分躁鬱含む だが、女性では統合失調症が多い				
	実施回数(【実績値】 - 【目標値】 令和6年度：6回 令和7年度：6回 令和8年度：6回 令和9年度：6回 令和10年度：6回 令和11年度：6回)-												- (アウトカムは設定されていません)											
	個別の事業																							
特定健康診査事業	3	既存（法定）	特定健康診査(被保険者)	全て	男女	40～74	被保険者	2	ク,ケ,サ	定期健康診断時に実施（会社負担）	ア,イ,カ	事業主主体での健診実施	0	0	0	0	0	0	加入者の健康維持及び内臓脂肪型肥満（メタボリックシンドローム）に着目した健診の受診率向上による生活習慣病の予防	○医療費 医療費は増加傾向。高齢とともに一人当たり医療費増。 20歳未満で全体の24%。前期高齢者は2.4%。納付率は減少傾向 疾病の中では歯が最も多く、新生物、循環器、呼吸器と続く。0-14歳と40歳以上の医療費が大きい ○生活習慣病 男性被保険者では生活習慣病31%なのに対し、女性被扶養者では16%と生活習慣病は男性に多い傾向がある。 生活習慣病では男性の腎不全、女性の高血圧高い。女性は脂質異常が高いが重症化していない。被扶養者と被保険者で傾向が異なる。 特定保健指導該当者率は健保計では前年より減少しているが、全国と比べて割合が高く、本人の該当割合が高くなっている。年代別では40－54歳の該当割合が高くなっている。				
	誕生月に問診票の送付 主要拠点以外は巡回健診・ネットワーク健診も利用 毎月の安全衛生委員会にて受診率の報告実施												誕生月に問診票の送付 主要拠点以外は巡回健診・ネットワーク健診も利用 毎月の安全衛生委員会にて受診率の報告実施	誕生月に問診票の送付 主要拠点以外は巡回健診・ネットワーク健診も利用 毎月の安全衛生委員会にて受診率の報告実施	誕生月に問診票の送付 主要拠点以外は巡回健診・ネットワーク健診も利用 毎月の安全衛生委員会にて受診率の報告実施	誕生月に問診票の送付 主要拠点以外は巡回健診・ネットワーク健診も利用 毎月の安全衛生委員会にて受診率の報告実施	誕生月に問診票の送付 主要拠点以外は巡回健診・ネットワーク健診も利用 毎月の安全衛生委員会にて受診率の報告実施							
	健診受診率(被保険者)(【実績値】 95.5% 【目標値】 令和6年度：95% 令和7年度：95% 令和8年度：95% 令和9年度：95% 令和10年度：95% 令和11年度：95%)安全衛生委員会での報告数値を共有												生活習慣リスク保有者率(【実績値】 78.1% 【目標値】 令和6年度：78% 令和7年度：78% 令和8年度：78% 令和9年度：78% 令和10年度：78% 令和11年度：78%)二次検診実施											
	-													内臓脂肪症候群該当者割合(【実績値】 25.6% 【目標値】 令和6年度：25.5% 令和7年度：25.5% 令和8年度：25.5% 令和9年度：25.5% 令和10年度：25.5% 令和11年度：25.5%)二次検診実施										
													10,891	10,891	10,891	10,891	10,891	10,891						

予算科目	注1) 事業分類	新規 既存	事業名	対象者				注2) 実施 主体	注3) プロセス 分類	実施方法	注4) ストラク チャー 分類	実施体制	予算額(千円)						事業目標	健康課題との関連						
				対象 事業所	性別	年齢	対象者						実施計画													
													令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度								
アウトプット指標													アウトカム指標													
	3	既存 (法定)	特定健康診査(被扶養者・任継)	全て	男女	20 ～ 74	被扶養者,任意継続者	1	ク,ケ	・40歳以上の被扶養者の方に受診案内を配付する。 ・生活習慣病検診・レディース検診を選択可	ア	受診券作成及び発送は、外部業者へ委託。	外部委託で実施 個人宅へ案内状及び受診案内を郵送。 HP、社内イントラ(被保険者経由)、機関誌でのPR実施。 39歳以上の未受診者へは受診勧奨の実施	外部委託で実施 個人宅へ案内状及び受診案内を郵送。 HP、社内イントラ(被保険者経由)、機関誌でのPR実施。 39歳以上の未受診者へは受診勧奨の実施	外部委託で実施 個人宅へ案内状及び受診案内を郵送。 HP、社内イントラ(被保険者経由)、機関誌でのPR実施。 39歳以上の未受診者へは受診勧奨の実施	外部委託で実施 個人宅へ案内状及び受診案内を郵送。 HP、社内イントラ(被保険者経由)、機関誌でのPR実施。 39歳以上の未受診者へは受診勧奨の実施	外部委託で実施 個人宅へ案内状及び受診案内を郵送。 HP、社内イントラ(被保険者経由)、機関誌でのPR実施。 39歳以上の未受診者へは受診勧奨の実施	外部委託で実施 個人宅へ案内状及び受診案内を郵送。 HP、社内イントラ(被保険者経由)、機関誌でのPR実施。 39歳以上の未受診者へは受診勧奨の実施	加入者の健康維持及び内臓脂肪型肥満（メタボリックシンドローム）に着目した健診の受診率向上による生活習慣病の予防	○医療費 医療費は増加傾向。高齢とともに一人当たり医療費増。 20歳未満で全体の24%。前期高齢者は2.4%。納付率は減少傾向疾病の中では歯が最も多く、新生物、循環器、呼吸器と続く。0-14歳と40歳以上の医療費が大きい ○生活習慣病 男性被保険者では生活習慣病31%なのに対し、女性被扶養者では16%と生活習慣病は男性に多い傾向がある。 生活習慣病では男性の腎不全、女性の高血圧高い。女性は脂質異常が高いが重症化していない。被扶養者と被保険者で傾向が異なる。						
	健診受診率(被扶養者)(【実績値】26.2% 【目標値】令和6年度：26% 令和7年度：26% 令和8年度：27% 令和9年度：28% 令和10年度：29% 令和11年度：30%)前年度実績報告：実績特定健診の受診率（被扶養者）													生活習慣リスク保有者率(被扶養者)(【実績値】54.7% 【目標値】令和6年度：50% 令和7年度：50% 令和8年度：50% 令和9年度：50% 令和10年度：50% 令和11年度：50%)受診促進												
	-													内臓脂肪症候群該当者割合(【実績値】6.2% 【目標値】令和6年度：6% 令和7年度：6% 令和8年度：6% 令和9年度：6% 令和10年度：6% 令和11年度：6%)受診促進												
特定保健指導事業	4	既存 (法定)	特定保健指導	全て	男女	40 ～ 74	被保険者,被扶養者,基準該当者	1	ア,エ,ク,ケ	・被保険者の40歳以上、定期健康診断時にメタボ対象者で指導を希望する方に、就業時間中に事業所内で初回面談後、半年間の電話カウンセリングを行う。参加者並びに達成者へのインセンティブを実施	ア,ウ	外部業者へ委託。	健康診断時にメタボ対象者で指導を希望する方に、連絡を実施 希望者は委託先の指導機関にて面談を実施 (オンラインor電話) その後3か月以上、電話カウンセリングの実施	健康診断時にメタボ対象者で指導を希望する方に、連絡を実施 希望者は委託先の指導機関にて面談を実施 (オンラインor電話) その後3か月以上、電話カウンセリングの実施	健康診断時にメタボ対象者で指導を希望する方に、連絡を実施 希望者は委託先の指導機関にて面談を実施 (オンラインor電話) その後3か月以上、電話カウンセリングの実施	健康診断時にメタボ対象者で指導を希望する方に、連絡を実施 希望者は委託先の指導機関にて面談を実施 (オンラインor電話) その後3か月以上、電話カウンセリングの実施	健康診断時にメタボ対象者で指導を希望する方に、連絡を実施 希望者は委託先の指導機関にて面談を実施 (オンラインor電話) その後3か月以上、電話カウンセリングの実施	健康診断時にメタボ対象者で指導を希望する方に、連絡を実施 希望者は委託先の指導機関にて面談を実施 (オンラインor電話) その後3か月以上、電話カウンセリングの実施	生活習慣病リスク保有者の生活習慣、健康状態の改善	○医療費 医療費は増加傾向。高齢とともに一人当たり医療費増。 20歳未満で全体の24%。前期高齢者は2.4%。納付率は減少傾向疾病の中では歯が最も多く、新生物、循環器、呼吸器と続く。0-14歳と40歳以上の医療費が大きい ○生活習慣病 男性被保険者では生活習慣病31%なのに対し、女性被扶養者では16%と生活習慣病は男性に多い傾向がある。 生活習慣病では男性の腎不全、女性の高血圧高い。女性は脂質異常が高いが重症化していない。被扶養者と被保険者で傾向が異なる。						
	特定保健指導実施率(【実績値】16.7% 【目標値】令和6年度：17% 令和7年度：18% 令和8年度：19% 令和9年度：20% 令和10年度：20% 令和11年度：20%)-													特定保健指導対象者割合(【実績値】25.5% 【目標値】令和6年度：25% 令和7年度：25% 令和8年度：25% 令和9年度：25% 令和10年度：25% 令和11年度：25%)-												
	-													特定保健指導による特定保健指導対象者の減少率(【実績値】18.2% 【目標値】令和6年度：18% 令和7年度：18% 令和8年度：18% 令和9年度：18% 令和10年度：18% 令和11年度：18%)-												
保健指導宣伝	8	既存	データヘルス計画	全て	男女	0 ～ 74	加入者全員	3	キ	・特定健診データ、レセプトデータ等を活用した疾病予防計画の立案、実施を行う。	シ	評価等は一部委託で実施	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000	保健事業への有効活用・事業主とのコラボ検討	該当なし						
	保健事業の評価(【実績値】1回 【目標値】令和6年度：1回 令和7年度：1回 令和8年度：1回 令和9年度：1回 令和10年度：1回 令和11年度：1回)年次の実績報告																									
	7	既存	ジェネリック差額通知	全て	男女	5 ～ 74	基準該当者	1	ス	保険証配布時にシールを同封	シ	外部業者へ委託。	100	100	100	100	100	100	処方された薬剤とジェネリック医薬品に切り替えた場合の差額を通知することで、後発医薬品の使用率を向上させ、医療費適正化をはかる。	該当なし						
	シール等送付率(【実績値】100% 【目標値】令和6年度：100% 令和7年度：100% 令和8年度：100% 令和9年度：100% 令和10年度：100% 令和11年度：100%)対象者へのシール等送付率													後発品使用率(【実績値】86% 【目標値】令和6年度：86% 令和7年度：86% 令和8年度：86% 令和9年度：86% 令和10年度：86% 令和11年度：86%)-												
													-	-	-	-	-	-								

予算科目	注1) 事業分類	新規 既存	事業名	対象者			注2) 実施主体	注3) プロセス分類	実施方法	注4) ストラクチャー分類	実施体制	予算額(千円)						事業目標	健康課題との関連					
				対象事業所	性別	年齢						対象者	実施計画											
													令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度			令和11年度				
アウトプット指標												アウトカム指標												
	4	新規	前期高齢者対策（すこやかエイジ）	全て	男女	64～（上限なし）	加入者全員,基準該当者	1	オ	対象者へのアンケートを実施 回答者のうち希望者へ生活習慣指導の電話指導を実施 2回目のアンケートで行動変容の結果を確認	ウ	電話相談は保健師から連絡を実施（外部委託） 予算は重症化予防にて確保	対象者への案内の実施	対象者への案内の実施	対象者への案内の実施	対象者への案内の実施	対象者への案内の実施	対象者への案内の実施	前期高齢者向けの医療費の適正化を目指す	○医療費 医療費は増加傾向。高齢とともに一人当たり医療費増。 20歳未満で全体の24%。前期高齢者は2.4%。納付率は減少傾向疾病の中では歯が最も多く、新生物、循環器、呼吸器と続く。0-14歳と40歳以上の医療費が大きい ○生活習慣病 男性被保険者では生活習慣病31%なのに対し、女性被扶養者では16%と生活習慣病は男性に多い傾向がある。 生活習慣病では男性の腎不全、女性の高血圧高い。女性は脂質異常が高いが重症化していない。被扶養者と被保険者で傾向が異なる。				
アンケートの送付(【実績値】1回 【目標値】令和6年度：1回 令和7年度：1回 令和8年度：1回 令和9年度：1回 令和10年度：1回 令和11年度：1回)-												指導実施対象者(【実績値】40人 【目標値】令和6年度：40人 令和7年度：40人 令和8年度：40人 令和9年度：40人 令和10年度：40人 令和11年度：40人)-												
疾病予防	3	既存	人間ドック	全て	男女	15～74	加入者全員	1	ア,ウ,オ,ク,ケ	・被保険者(全員)、20歳以上の被扶養者を対象に案内ダイレクトメールを送付し、契約医療機関にて受診してもらう。 WEBサイト、電話、郵送で申し込み	カ	契約医療機関で実施 令和2年度より外部委託にて実施	DMの送付実施 社内イントラ・HP・機関誌等での案内の実施	DMの送付実施 社内イントラ・HP・機関誌等での案内の実施	DMの送付実施 社内イントラ・HP・機関誌等での案内の実施	DMの送付実施 社内イントラ・HP・機関誌等での案内の実施	DMの送付実施 社内イントラ・HP・機関誌等での案内の実施	DMの送付実施 社内イントラ・HP・機関誌等での案内の実施	健康維持、疾病の予防・早期発見	○医療費 医療費は増加傾向。高齢とともに一人当たり医療費増。 20歳未満で全体の24%。前期高齢者は2.4%。納付率は減少傾向疾病の中では歯が最も多く、新生物、循環器、呼吸器と続く。0-14歳と40歳以上の医療費が大きい ○生活習慣病 男性被保険者では生活習慣病31%なのに対し、女性被扶養者では16%と生活習慣病は男性に多い傾向がある。 生活習慣病では男性の腎不全、女性の高血圧高い。女性は脂質異常が高いが重症化していない。被扶養者と被保険者で傾向が異なる。 40歳以上では新生物、循環器、歯、腎尿路、筋骨格と続く 新生物では男女の医療費がほぼ等しく、 男性ではその他、気管が多いのに対し、 女性では女性固有のがん乳房、子宮の費用が大きい。				
	案内通知実施率(【実績値】100% 【目標値】令和6年度：100% 令和7年度：100% 令和8年度：100% 令和9年度：100% 令和10年度：100% 令和11年度：100%)人間ドックを最も効果的な疾病予防対策と捉え、受診者の拡大を図る。												受診人数(【実績値】665人 【目標値】令和6年度：600人 令和7年度：600人 令和8年度：600人 令和9年度：600人 令和10年度：600人 令和11年度：600人)-											
	3	既存	オプション健診（胃・大腸・前立腺・乳・子宮）	全て	男女	15～74	加入者全員	1	ウ,ケ	・被保険者(全員)、20歳以上の被扶養者の希望者を対象に被保険者は工場では、期間を定め実施し、全国の販売拠点は、事業主健診の際に実施する。被扶養者は特定健診と合わせて実施。 胃：X線or ABC健診、大腸：便潜血、前立腺：PSA、乳：エコー・マンモグラフィーを選択 子宮：医療機関で受診、その他：アミノインデックスも選択可	ウ	外部委託先の契約医療機関で実施	社内イントラ・HP・機関誌・ポスター等での案内の実施 大腸がんは事前申込不要で標準実施に変更 健保が一部費用の補助	社内イントラ・HP・機関誌・ポスター等での案内の実施 大腸がんは事前申込不要で標準実施に変更 健保が一部費用の補助	社内イントラ・HP・機関誌・ポスター等での案内の実施 大腸がんは事前申込不要で標準実施に変更 健保が一部費用の補助	社内イントラ・HP・機関誌・ポスター等での案内の実施 大腸がんは事前申込不要で標準実施に変更 健保が一部費用の補助	社内イントラ・HP・機関誌・ポスター等での案内の実施 大腸がんは事前申込不要で標準実施に変更 健保が一部費用の補助	社内イントラ・HP・機関誌・ポスター等での案内の実施 大腸がんは事前申込不要で標準実施に変更 健保が一部費用の補助	がんの早期発見	40歳以上では新生物、循環器、歯、腎尿路、筋骨格と続く 新生物では男女の医療費がほぼ等しく、 男性ではその他、気管が多いのに対し、 女性では女性固有のがん乳房、子宮の費用が大きい。				
	案内通知実施率(【実績値】100% 【目標値】令和6年度：100% 令和7年度：100% 令和8年度：100% 令和9年度：100% 令和10年度：100% 令和11年度：100%)対象者へ実施案内の送付												大腸がん検診実施者数(【実績値】3,997人 【目標値】令和6年度：4,000人 令和7年度：4,000人 令和8年度：4,000人 令和9年度：4,000人 令和10年度：4,000人 令和11年度：4,000人)-											
-												胃がん検診実施者数(【実績値】1,359人 【目標値】令和6年度：4,000人 令和7年度：4,000人 令和8年度：4,000人 令和9年度：4,000人 令和10年度：4,000人 令和11年度：4,000人)-												
5	既存	禁煙促進プログラム	全て	男女	20～74	被保険者	1	ケ	・希望する被保険者に対し、上尾診療所にて実施する。 （産業医面談にて意思確認後ニコチン貼付薬を8週間貼付⇒終了後1ヶ月、1年後にアンケート調査）	イ,ウ	上尾診療所、医療機関で実施	ポスター・社内イントラ・HP・機関誌等での案内の実施。 希望する被保険者に対し上尾診療所にて実施する。 希望する被保険者に対し全国の医療機関にて禁煙外来の費用補助を実施。	ポスター・社内イントラ・HP・機関誌等での案内の実施。 希望する被保険者に対し上尾診療所にて実施する。 希望する被保険者に対し全国の医療機関にて禁煙外来の費用補助を実施。	ポスター・社内イントラ・HP・機関誌等での案内の実施。 希望する被保険者に対し上尾診療所にて実施する。 希望する被保険者に対し全国の医療機関にて禁煙外来の費用補助を実施。	ポスター・社内イントラ・HP・機関誌等での案内の実施。 希望する被保険者に対し上尾診療所にて実施する。 希望する被保険者に対し全国の医療機関にて禁煙外来の費用補助を実施。	ポスター・社内イントラ・HP・機関誌等での案内の実施。 希望する被保険者に対し上尾診療所にて実施する。 希望する被保険者に対し全国の医療機関にて禁煙外来の費用補助を実施。	ポスター・社内イントラ・HP・機関誌等での案内の実施。 希望する被保険者に対し上尾診療所にて実施する。 希望する被保険者に対し全国の医療機関にて禁煙外来の費用補助を実施。	喫煙率の減少	40歳以上では新生物、循環器、歯、腎尿路、筋骨格と続く 新生物では男女の医療費がほぼ等しく、 男性ではその他、気管が多いのに対し、 女性では女性固有のがん乳房、子宮の費用が大きい。					

予算科目	注1) 事業分類	新規 既存	事業名	対象者			注2) 実施主体	注3) プロセス分類	実施方法	注4) ストラクチャー分類	実施体制	予算額(千円)						事業目標	健康課題との関連						
				対象事業所	性別	年齢						対象者	実施計画												
													令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度			令和11年度					
アウトプット指標												アウトカム指標													
案内通知実施率(【実績値】100% 【目標値】令和6年度：100% 令和7年度：100% 令和8年度：100% 令和9年度：100% 令和10年度：100% 令和11年度：100%)-												喫煙率(【実績値】36% 【目標値】令和6年度：35% 令和7年度：35% 令和8年度：35% 令和9年度：34% 令和10年度：34% 令和11年度：34%)喫煙率（被保険者）													
6	既存	24時間電話健康相談	全て	男女	0～74	加入者全員	1	工	・被保険者、被扶養者に対し24時間健康医療電話相談を実施する。 （優秀専門医の紹介、セカンドオピニオン、メンタルヘルス相談・面談）	ウ	外部業者へ委託。	5,000	5,000	5,000	5,000	5,000	5,000	健康・育児に関する相談による医療費適正化	該当なし						
案内通知実施率(【実績値】100% 【目標値】令和6年度：100% 令和7年度：100% 令和8年度：100% 令和9年度：100% 令和10年度：100% 令和11年度：100%)全被保険者の自宅へ案内パンフレットの送付												全相談件数(【実績値】251件 【目標値】令和6年度：250件 令和7年度：250件 令和8年度：250件 令和9年度：250件 令和10年度：250件 令和11年度：250件)電話並びに面談の全件数													
4	既存	生活習慣病重症化予防（受診勧奨）	全て	男女	40～74	被保険者,基準該当者	2	イ,オ,キ,ク,ケ	・糖尿病（HbA1c値6.5以上）や血圧（収縮期血圧140mmHg以上又は拡張期血圧90mmHg以上）で病院を受診していない40歳以上の被保険者に対して受診勧奨を行う。 ・年に1回、パンフレット送付。 ・本人に分かりやすく付加価値の高い健診結果を、パンフレットと同時に送付。	ア,イ	対象者への産業医からの受診勧奨も実施 パンフレット（マイヘルスレポート）作成は外部業者へ委託。	対象者に郵送にて案内の実施 レセプトにて受診状況の確認	対象者に郵送にて案内の実施 レセプトにて受診状況の確認	対象者に郵送にて案内の実施 レセプトにて受診状況の確認	対象者に郵送にて案内の実施 レセプトにて受診状況の確認	対象者に郵送にて案内の実施 レセプトにて受診状況の確認	対象者に郵送にて案内の実施 レセプトにて受診状況の確認			糖尿病の重症化予防	○医療費 医療費は増加傾向。高齢とともに一人当たり医療費増。 20歳未満で全体の24%。前期高齢者は2.4%。納付率は減少傾向 疾病の中では歯が最も多く、新生物、循環器、呼吸器と続く。0-14歳と40歳以上の医療費が大きい ○生活習慣病 男性被保険者では生活習慣病31%なのに対し、女性被扶養者では16%と生活習慣病は男性に多い傾向がある。 生活習慣病では男性の腎不全、女性の高血圧高い。女性は脂質異常が高いが重症化していない。被扶養者と被保険者で傾向が異なる。 ○疾病 歯科医療費は49歳と、45-49歳にピークがある。ただし、一人当たり費用でみるとまんべんなく発生している。 20歳未満では呼吸器、歯の比率が高い。呼吸器は風邪症候群、ぜんそくが大きい。 20－39歳では医療費単価が安い。歯が最も多く、新生物、呼吸器、神経系が多い。 循環器では男性では高血圧、その他、虚血性心疾患 心筋梗塞が多いのに対し、女性では高血圧、脳内出血が多いが、虚血性心疾患はほとんど見られない。 。腎尿路では男性は圧倒的に腎不全だが、女性では女性固有の疾患、乳房、生殖器が大きくなる。 筋骨格では、男性は脊椎障害、関節症が、女性ではリウマチが多くみられる。女性被扶養者の前期高齢者で骨折が多くみられる。口コモ、骨粗しょう症の影響が 精神障害では、男性は圧倒的に気分躁鬱含む だが、女性では統合失調症が多い				
案内通知実施率(【実績値】100% 【目標値】令和6年度：100% 令和7年度：100% 令和8年度：100% 令和9年度：100% 令和10年度：100% 令和11年度：100%)対象者へ医療受診の促進にを促す												対象者の医療機関受診率(【実績値】99.4% 【目標値】令和6年度：99% 令和7年度：99% 令和8年度：99% 令和9年度：99% 令和10年度：99% 令和11年度：99%)受診勧奨者の受診実施割合(2次健診受診実績/2次健診対象者)													
8	既存	インフルエンザ予防接種	全て	男女	0～74	加入者全員	1	ケ	令和2年度より加入者全員全額補助に拡大	シ	医療機関で実施。	30,000	30,000	30,000	30,000	30,000	30,000	インフルエンザ重症化予防	該当なし						
案内通知実施率(【実績値】100% 【目標値】令和6年度：100% 令和7年度：100% 令和8年度：100% 令和9年度：100% 令和10年度：100% 令和11年度：100%)-												補助金支給者数(【実績値】4,483人 【目標値】令和6年度：4,500人 令和7年度：4,500人 令和8年度：4,500人 令和9年度：4,500人 令和10年度：4,500人 令和11年度：4,500人)-													
												1,600	1,600	1,600	1,600	1,600	1,600								

予算科目	注1) 事業分類	新規 既存	事業名	対象者			注2) 実施主体	注3) プロセス分類	実施方法	注4) ストラクチャー分類	実施体制	予算額(千円)						事業目標	健康課題との関連				
				対象事業所	性別	年齢						実施計画											
												令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度						
アウトプット指標												アウトカム指標											
	3,4	新規	歯科対策	全て	男女	18～ (上限なし)	加入者 全員	1	ケ	人間ドック申込者へ歯周病チェックキットを配布 (被保険者全員、被扶養者は20歳以上で申し込み可能)	シ	外部委託により実施	・歯科検診/費用補助のトライアル実施 ・歯周病チェックキットを配布	・歯科検診対象の拡大を検討 ・歯周病チェックキットを配布	・歯周病チェックキットを配布	・歯周病チェックキットを配布	・歯周病チェックキットを配布	・歯周病チェックキットを配布	早期受診による歯科医療費の適正化	○疾病 歯科医療費は49歳と、4549歳にピークがある。ただし、一人当たり費用でみるとまんべんなく発生している。 20歳未満では呼吸器、歯の比率が高い。呼吸器は風邪症候群、ぜんそくが大きい。 20－39歳では医療費単価が安い。歯が最も多く、新生物、呼吸器、神経系が多い。 循環器では男性では高血圧、その他、虚血性心疾患 心筋梗塞が多いのに対し、女性では高血圧、脳内出血が多いが、虚血性心疾患はほとんど見られない。 。腎尿路では男性は圧倒的に腎不全だが、女性では女性固有の疾患、乳房、生殖器が大きくなる。筋骨格では、男性は脊椎障害、関節症が、女性ではリウマチが多くみられる。女性被扶養者の前期高齢者で骨折が多くみられる。口コモ、骨粗しょう症の影響が 精神障害では、男性は圧倒的に気分躁鬱含む だが、女性では統合失調症が多い			
キットの配布人数(【実績値】 - 【目標値】 令和6年度：400人 令和7年度：400人 令和8年度：400人 令和9年度：400人 令和10年度：400人 令和11年度：400人)歯周病チェックキットを配布														現状はセルフチェックのみのため 正式な歯科検診実施時に決定予定 (アウトカムは設定されていません)									
体育奨励	5	既存	ウォーキング・マラソン活動 (RACE-ONE・上尾マラソン)	全て	男女	0～74	加入者 全員	2	ア,ケ	健康づくりのため・好きなタイミングで目標の距離を歩く活動を実施 (ウォーキング・マラソンなど選択可能) 上尾市民マラソンへの協賛を実施し、参加者を募集する マラソン参加者にはTシャツを配布	エ	海外の方とも同時実施	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	参加者間の情報共有による運動習慣の改善	該当なし			
													年1回実施 ポスター・社内イントラ・HP・機関誌等での案内の実施（上尾地区にて実施）	年1回実施 ポスター・社内イントラ・HP・機関誌等での案内の実施（上尾地区にて実施）	年1回実施 ポスター・社内イントラ・HP・機関誌等での案内の実施（上尾地区にて実施）	年1回実施 ポスター・社内イントラ・HP・機関誌等での案内の実施（上尾地区にて実施）	年1回実施 ポスター・社内イントラ・HP・機関誌等での案内の実施（上尾地区にて実施）	年1回実施 ポスター・社内イントラ・HP・機関誌等での案内の実施（上尾地区にて実施）					
案内通知実施率(【実績値】 100% 【目標値】 令和6年度：100% 令和7年度：100% 令和8年度：100% 令和9年度：100% 令和10年度：100% 令和11年度：100%)参加者に実施案内を送付														市民マラソン参加人数(【実績値】 70人 【目標値】 令和6年度：70人 令和7年度：70人 令和8年度：70人 令和9年度：70人 令和10年度：70人 令和11年度：70人)-									
予算措置なし	3	既存 (法定)	ストレスチェック	母体企業	男女	18～ (上限なし)	被保険者	3	イ,エ,ク,ケ,サ	面談希望者に産業医による面談の実施 高ストレス者が多い職場の職場改善を委託して実施	ア,イ,ウ,コ	会社からの委託にて実施 調査実施・職場改善については外部委託	0	0	0	0	0	0	メンタルヘルス疾患の早期発見・予防	○疾病 歯科医療費は49歳と、4549歳にピークがある。ただし、一人当たり費用でみるとまんべんなく発生している。 20歳未満では呼吸器、歯の比率が高い。呼吸器は風邪症候群、ぜんそくが大きい。 20－39歳では医療費単価が安い。歯が最も多く、新生物、呼吸器、神経系が多い。 循環器では男性では高血圧、その他、虚血性心疾患 心筋梗塞が多いのに対し、女性では高血圧、脳内出血が多いが、虚血性心疾患はほとんど見られない。 。腎尿路では男性は圧倒的に腎不全だが、女性では女性固有の疾患、乳房、生殖器が大きくなる。筋骨格では、男性は脊椎障害、関節症が、女性ではリウマチが多くみられる。女性被扶養者の前期高齢者で骨折が多くみられる。口コモ、骨粗しょう症の影響が 精神障害では、男性は圧倒的に気分躁鬱含む だが、女性では統合失調症が多い			
													11月実施し 1月以降職場改善の実施	11月実施し 1月以降職場改善の実施	11月実施し 1月以降職場改善の実施	11月実施し 1月以降職場改善の実施	11月実施し 1月以降職場改善の実施	11月実施し 1月以降職場改善の実施					
													受検率(【実績値】 88.5% 【目標値】 令和6年度：78% 令和7年度：78% 令和8年度：78% 令和9年度：78% 令和10年度：78% 令和11年度：78%)-										高ストレス者の割合(【実績値】 20.1% 【目標値】 令和6年度：18% 令和7年度：16% 令和8年度：14% 令和9年度：12% 令和10年度：10% 令和11年度：10%)-
														職場改善が必要な職場数(【実績値】 48グループ 【目標値】 令和6年度：47グループ 令和7年度：46グループ 令和8年度：45グループ 令和9年度：44グループ 令和10年度：43グループ 令和11年度：42グループ)対象のグループ数									

予 算 科 目	注1) 事業 分類	新 規 既 存	事業名	対象者				注2) 実施 主体	注3) プロセス 分類	実施方法	注4) ストラク チャー 分類	実施体制	予算額(千円)						事業目標	健康課題との関連
				対象 事業所	性別	年 齢	対象者						実施計画							
													令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度		
アウトプット指標												アウトカム指標								

注1) 1. 職場環境の整備 2. 加入者への意識づけ 3. 健康診査 4. 保健指導・受診勧奨 5. 健康教育 6. 健康相談 7. 後発医薬品の使用促進 8. その他の事業

注2) 1. 健保組合 2. 事業主が主体で保健事業の一部としても活用 3. 健保組合と事業主との共同事業

注3) ア. 加入者等へのインセンティブを付与 イ. 受診状況の確認（要医療者・要精密検査者の医療機関受診状況） ウ. 受診状況の確認（がん検診・歯科健診の受診状況） エ. I C Tの活用 オ. 専門職による健診結果の説明 カ. 他の保険者と共同で集計データを持ち寄って分析を実施 キ. 定量的な効果検証の実施
ク. 対象者の抽出（優先順位づけ、事業所の選定など） ケ. 参加の促進（選択制、事業主の協力、参加状況のモニタリング、環境整備） コ. 健診当日の面談実施・健診受診の動線活用 サ. 就業時間内も実施可（事業主と合意） シ. 保険者以外が実施したがん検診のデータを活用 ス. その他

注4) ア. 事業主との連携体制の構築 イ. 産業医または産業保健師との連携体制の構築 ウ. 外部委託先の専門職との連携体制の構築 エ. 他の保険者との健診データの連携体制の構築 オ. 自治体との連携体制の構築 カ. 医療機関・健診機関との連携体制の構築 キ. 保険者協議会との連携体制の構築 ク. その他の団体との連携体制の構築
ケ. 保険者内の専門職の活用（共同設置保健師等を含む） コ. 運営マニュアルの整備（業務フローの整理） サ. 人材確保・教育（ケースカンファレンス／ライブラリーの設置） シ. その他